

がん看護学演習

[演習] 1年 後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》○熊谷 歌織 [kaori@hoku-iryo-u.ac.jp]
三津橋 梨絵 [mitsuhashi@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

がんの診断から治療期、再発やエンド・オブ・ライフ期に至るがんサバイバーシップ概念を学び、その過程における病名・予後告知、治療選択、治療経過に伴うがんサバイバーの複雑な健康問題に対する包括的な援助方法を学ぶ。病態生理学の知識、文献クリティークによるエビデンスを統合した援助方法を修得する。また、がん予防に関する支援の課題とあり方を検討する。

【学修目標】

1. がんサバイバーシップでのサバイバー・家族の身体的、心理・社会的課題を説明できる
2. がんの診断から治療選択、治療に伴う包括的なアセスメントと援助法を説明できる
3. 文献クリティークを通して、高度な看護実践の基盤となるエビデンス、有効な方略を探求できる
4. 倫理的課題に対して、倫理的判断・意思決定モデルを活用した援助、CNSの倫理調整を修得する
5. がんの予防教育の目的、内容および方法を探求できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	がんサバイバーシップにおける看護援助	1) がんサバイバーの概念および治療環境の変化に伴う今日的な変化を考察する 2) 研究動向を踏まえ、がんサバイバーシップでのサバイバー・家族の身体的、心理・社会的課題に対する看護援助について探求する	三津橋 熊谷
3) 4	がんの診断から治療選択における看護援助	1) がんの病態、診断プロセス、治療の特徴等をふまえて診断から治療選択の看護援助を探求する (Case-basedディスカッション)	熊谷 三津橋
5) 8	がんの集学的治療に伴う看護援助	1) 診療・支持療法等各種ガイドラインやアセスメントツールなどエビデンスに基づく看護援助を探求する。 ・がん薬物療法、手術療法、放射線療法中の身体管理と看護援助 ・有害事象に伴う日常生活の影響への援助 ・がん治療による短期的、長期的な器質的・機能的変化に対するリハビリテーション	熊谷 三津橋
9) 10	がんの補完代替療法を用いた看護援助	1) 補完代替療法の分類と名称、内容を学習する 2) 補完代替療法ガイドラインを参考に、エビデンスに基づく活用法を探求する	熊谷 三津橋
11) 12	がんサバイバーシップにおける倫理的課題と看護援助	1) 病名・予後告知、治療選択をめぐる倫理的問題を整理する 2) 倫理的判断・意思決定モデルにもとづき、がんサバイバー・家族の意思決定を支える看護援助を探求する 3) CNSの倫理的調整を探求する (case-based ディスカッション)	三津橋
13) 15	がんの予防における看護援助	1) がんの予防医療における動向と課題を整理する 2) がんの予防教育の取り組みを文献から整理し、予防教育の目的、内容、方法、CNSの役割を探求する	三津橋 熊谷

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート(50%)、プレゼンテーション(25%)およびディスカッション(25%)から総合的に評価する。

【教科書】

随時提示する

【参考書】

随時提示する

【学修の準備】

関連資料および関連図書を熟読して臨む。

【学修方法】

各テーマの課題に対するプレゼンテーションとそれに対するディスカッションにより学習を深める

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。